

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんせんとらるあいちこうきょうがくだん 公益社団法人セントラル愛知交響楽団		団体ウェブサイトURL https://www.caso.jp
	代表者職・氏名 理事長 山田貞夫		
制作団体所在地	〒 450-0003	最寄り駅(バス停)	名古屋市バス「六反公園」
	愛知県名古屋市中村区名駅南4-8-17 ダイド一名駅南第2ビル 401		
電話番号	052-581-3851		
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじんせんとらるあいちこうきょうがくだん 公益社団法人セントラル愛知交響楽団		団体ウェブサイトURL https://www.caso.jp
	代表者職・氏名 理事長 山田貞夫		
公演団体所在地	〒 450-0003	最寄り駅(バス停)	名古屋市バス「六反公園」
	愛知県名古屋市中村区名駅南4-8-17 ダイド一名駅南第2ビル 401		
制作団体 設立年月	1983年4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長/山田貞夫 副理事長/中西政男 田中英成 常務理事/瀬戸和夫		役員13名 事務局員11名 楽団員49名 法人賛助会員72社 個人賛助会員79名 リスナー会員116名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	清水善一
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	小林良子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	office@caso.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任、2024年4月より音楽監督。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。 1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>【2019年度】 愛知県/12公演、三重県/5公演、岐阜県/3公演、福井県/1公演 計21公演 【2020年度】 愛知県/9公演(左記公演数の他、5公演中止)、三重県/2公演(1公演中止)、岐阜県/2公演(2公演中止)、福井県/1公演 計14公演(内8公演中止) 【2021年度】 愛知県13公演(2公演中止)、三重県/4公演(1公演中止)、岐阜県/5公演、福井県/1公演 ※学校単独公演の他、県および市の文化振興事業団等の主催公演(複数校参加)回数を含む 計23公演(内3公演中止) 【2022年度】 愛知県/9公演、三重県/2公演、岐阜県/7公演、福井県/1公演 計19公演 【2023年度】 愛知県/9公演、三重県/3公演、岐阜県/2公演 計14公演</p>			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>平成19年 豊田養護学校 平成20年 佐織養護学校 平成21年 東急ふれあいコンサート(盲学校対象公演) 平成22年 北きらら学園、山梨県立ろう学校(※) 平成23年 宮古恵風支援学校(※) 平成26年 愛知県立港特別支援学校 等 ※文化庁舞台芸術体験事業</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>無</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>....</p>	
		<p>PW:</p>	<p>....</p>	

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	-
企画名	テーマ:『物語・エピソードのある音楽』			
企画のねらい	物語やエピソードによって創作された世界各国の多様性に満ちたスタイルの音楽に触れ、一人ひとりの児童がそのイメージを思い描き感受できる機会としたい。			
演目概要・演目選択理由	<p>演目概要 別添あり…【添付資料 リンク先No.1】</p> <p>演目選択理由 文科省学習指導要領音楽科目標に示されている「音楽を愛好する心情を育む」の実体験の機会として、児童が音楽的な見方や考え方を働かせて、音楽を形成している要素や曲想、音楽の豊かさや楽しさを感じ取ることができるよう構成した。楽曲が創作された物語、エピソード、そして音楽での描写や表現をとおして、児童一人ひとりの心に直接的に響き、心が揺さぶられ音楽の興味・関心を促す公演としたい。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	共演曲「トルコ行進曲」(モーツァルト)のロンド形式の各部分を、旋律の変化に合わせた打楽器でのリズム奏をワークショップ参加児童による共演に加え、全校児童で手拍子や体で表現してオーケストラと共演する。なお、本来のピアノ曲をオーケストラ版に編曲して実施する。また、指揮者体験コーナーを設け、全員で指揮の仕方を学び、代表児童(3名)の指揮による演奏を実施する。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	全校児童	
		鑑賞人数目安	全校児童	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>～世界各国の多様性に満ちたスタイルの音楽を、その物語やエピソードを思い描いて感受する～</p> <p>♪オペラ『ルスランとリュドミラ』より「序曲」(6分) 作曲:ミハエル・グリンカ</p> <p>◇弦楽器紹介 (5分)</p> <p>♪「アトムハーツクラブ組曲第2番」より第1&6楽章…《弦楽合奏》(4分) 作曲:吉松隆</p> <p>◇管打楽器紹介 (10分)</p> <p>♪トムとジェリー (5分) 作曲:スコット・ブラッドリー</p> <p>◇指揮者体験コーナー(8分) 使用曲… ♪ハンガリー舞曲第5番 作曲:ヨハネス・ブラームス</p> <p>〈休憩 10分〉</p> <p>◇共演 (10分) 使用曲… ♪トルコ行進曲(ピアノソナタ第11番イ長調第3楽章のオーケストラ編曲) 作曲:ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト</p> <p>♪『クーブランの墓』より「リゴードン」(3分) 作曲:モーリス・ラヴェル</p> <p>♪楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より「第1幕への前奏曲」(11分) 作曲:ヴィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー</p> <p>♪校歌 (5分)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>			
出演者	別添あり…【添付資料 リンク先No.2】			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p><指揮>角田鋼亮…セントラル愛知交響楽団音楽監督(2024年4月～) 東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞他。国内ではNHK交響楽団他主要オーケストラと共演。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」他受賞。</p> <p><司会>加藤恵利子 名古屋音楽大学声楽学科卒業。 名古屋市新進演奏家紹介コンサート優秀賞、(社)日本歌曲振興会 日本歌曲コンクール声楽部門入選。これまでに歌劇「あしたの瞳〜もうひとつの未来(初演)」「ブラック・ジャック〜時をめぐる3章(初演)」「屋根の上のヴァイオリン弾き」等に出演。平成30年度 芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団)受賞。</p>			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 62 名 スタッフ: 9 名 合 計: 71 名	運搬	積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 3 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時	13時30分～15時の間	10分	15時30分～16時45分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月
	8日	5日	0日	4日
	10月	11月	12月	1月
	4日	8日	0日	4日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



体育館に特設ステージを組み、
 オーケストラによる名曲の鑑賞



指揮者体験コーナーでは、
 オーケストラを指揮して
 名曲を演奏



ワークショップ参加児童がオーケストラの最
 前列に並び共演し、全校児童も全員で手拍子
 などのリズムで大合奏。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	「アトムハーツクラブ組曲第2番」より第1&6楽章…《弦楽合奏》
	該当事項がある場合	権利者名 吉松隆	許諾確認状況	採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

ワークショップのねらい	本公演の共演が、児童・生徒にとってオーケストラと一緒に音楽を創り上げる貴重な体験の機会となることを目標とする。その前段としてのワークショップは、参加者と演奏者が身近で生の音楽を通してふれあい、対話や交流の場として、音楽を表現する楽しさや喜びを感受できるように企画した。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>「ミニオーケストラがやって来た！」という設定で実施。</p> <p>【第1時限】 ◇訪問メンバー(弦楽器2種、木管・金管・打楽器は各1種の計5名の演奏者を予定)によるアンサンブル演奏と楽器紹介に併せてメンバー紹介。 楽器紹介…それぞれの楽器の音が出る原理の話と演奏。 ◇「音楽ってどんなもの？」と題し、音楽の3大要素のうち、主に曲の雰囲気を支えるリズムの役割に焦点をあてる。併せて調による変化(長調と短調)による感受(感じ方/明るい・楽しい? ⇄ 悲しい・寂しい?)について触れて行く。 ◇第2時限での主要教材曲を「トルコ行進曲」(モーツァルト作曲:ピアノソナタ第11番第3楽章/4分の2拍子)とし、その他の拍子やリズムに特徴ある代表的な曲についても演奏や映像をとおして、リズムが音楽での大事な要素であることの理解を深める。</p> <p>【第2時限】 ◇「トルコ行進曲」はロンド形式で、各部(A/B/Cの部分の順序を入れ替えながら構成)の特徴的な旋律が行進曲の基本となるリズムが支えている。基本リズムから展開による変奏リズムを提示する。 ◇基本リズムと変奏リズムに合った楽器ごとのグループ分け(4グループ)で、学校備品打楽器を使用して練習する。打楽器メンバーを中心に、訪問メンバーがその指導にあたる。 ◇最後は一堂に会し、訪問メンバーによるミニオーケストラの演奏に合わせて、リズム合奏をする(本公演では、ワークショップ参加児童が模範演奏後、全校児童が加わりオーケストラとの共演に展開)。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	実施校にはワークショップ及び本公演の事前準備に極力負担がかからないように配慮したい。2024年度巡回公演に関わるワークショップの実施状況を踏まえ、今回の実施計画にあたって音楽監督、委員会(楽員スタッフ)、事務局による企画・検討を重ね、更に児童の興味・関心・意欲を引き出す工夫や本公演との関連性を重視して計画をする。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実 施するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>当団は学校公演と共に成長してきたオーケストラであり、40年を超える活動の中で蓄積してきた経験と実績を活かし、学校現場の状況や要望を踏まえて柔軟に対応できる団体と自負している。事業提携している岩倉市では市内の小中学校の鑑賞会やジュニアオーケストラの指導、半田市では中学校吹奏楽部の指導、演奏会の実施等や多くの学校からの依頼公演を受け、児童・生徒の目線に立った指導や演奏をする貴重な機会を得ている。</p> <p>また、経営理念の目標のひとつとして、学校公演を中心とした次世代を担う子どもたちを育成する事業を掲げている。</p> <p>申請にあたっては、多くの児童が生のおケストラを身近で聴き、感受により心に響く感動体験ができる貴重な機会として、当団としては未来の鑑賞者づくりへの基盤と捉え取り組んで行く。</p> <p>テーマを『物語・エピソードのある音楽』として、各楽曲のストーリー性や諸国の風土や歴史(時代)から生まれた音楽表現や、音楽を形作っている色々な要素に気づき、音楽への興味・関心を促したい。ワークショップの指導(体験)内容を発展させ、本公演のプログラム構成と前年度の成果と課題を踏まえた共演の場に反映させることとし、共演による日常ではない体験と、全校で感動の場面を創っていく。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p><u>申請にあたって</u></p> <p>1)音楽監督、委員会(スタッフ)、事務局による企画・検討 一昨年度より、本事業の申請にあたっては日頃の学校公演での接点(演奏者)である楽員を含めたスタッフを組み、児童・生徒の興味・関心を引き出す工夫、ワークショップと本公演との関連性やテーマ性を持ったプログラム構成等を練り上げ、全楽員が意欲的に取り組む事業と位置付けた。</p> <p>2)学校現場の情報収集 本事業への申請に際し、事前に学校教育現場側としてワークショップ及び本公演の在り方や対応についてのご意見や要望等のリサーチをしたことを活かし、各学校に応じた公演の成功に結び付けたい。</p> <p>3)共演曲の工夫 ワークショップで体験した内容(小学校/トルコ行進曲を教材としたリズム)の成果を、本公演においてオーケストラとの共演プログラムにより、全校での表現と鑑賞の場に導く。これまでの実践を踏まえた成果と課題の見直し改善により、曲の使用部分の吟味、学年に応じたリズムパターンの提示やリズムや音色の重なりなどを意識して再構成し、児童がより音楽をしながら感受できる場となるように工夫を施す。</p> <p><u>実施にあたって</u></p> <p>1)実施要項の送付と事務連絡サポート ワークショップ及び本公演までに、実施校が負担にならないように留意し、準備いただく内容について伝達をする。また、過去実施してきた学校公演等のサンプル映像等も提供してイメージを想定いただく。</p> <p>2)ワークショップでの指導 本公演への興味・関心や期待を抱いていただくために、参加したオーケストラ楽員による楽器紹介やミニコンサートを間近で鑑賞しながら、各楽器の発音原理や奏法も観察する場としたい。また、共演曲についてリズム奏やリズムパターンの組み合わせの面白さや楽器奏法など、本公演へ繋げる内容を織り込んで実施する。</p>
--	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】
演目概要	<p>♪オペラ『ルスランとリェドミラ』より「序曲」 作曲:ミハエル・格林カ(ロシア/1804年6月1日 - 1857年2月15日)</p>	
	<p>格林カは“近代ロシア音楽の父”と言われ、3時間を超えるオペラ(物語)の雰囲気を与えてくれるこの序曲は、全速力で駆け巡るような雰囲気です。演奏会の華やかな幕開けです。</p>	
	<p>♪『アトムハーツクラブ組曲第2番』より「第1&6楽章」…《弦楽合奏》 作曲:吉松隆(日本/1953年3月18日 -)</p>	
	<p>弦楽四重奏から弦楽合奏に編曲された曲で、イギリスのロックの音楽に加えて、日本の「鉄腕アトム」などに揺り動かされてできた曲だそうです。弦楽器の演奏法にも注目して下さい。</p>	
	<p>♪トムとジェリー 作曲:スコット・ブラッドリー(アメリカ/1891年11月26日 - 1977年4月27日)</p>	
	<p>体は大きいけれど短気でお調子者、でも憎めないネコのトムと、体は小さいけれどずる賢くて、追いかけ回すトムをかわすネズミのジェリーが巻き起こすユーモアたっぷりのドタバタ劇の物語です。音楽で様子を思い浮かべてみましょう。</p>	
<p>♪ハンガリー舞曲第5番 作曲:ヨハネス・ブラームス(ドイツ/1833年5月7日 - 1897年4月3日)</p>		
<p>ブラームスがハンガリーを旅した時に出会った民謡を集めてまとめた作品です。速さや強弱の変化に富んでいますが、皆さんも指揮者に挑戦! 指揮者になった気分楽しんで下さい。</p>		
<p>♪トルコ行進曲 (ピアノソナタ第11番イ長調第3楽章のオーケストラ編曲) 作曲:ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(ドイツ/1756年1月27日 - 1791年12月5日)</p>		
<p>もともとはピアノ曲ですが、今回はオーケストラ用に編曲をしました。トルコの軍楽隊が行進している様子を表現した曲です。今日はワークショップに参加したお友達に加えて、全校の皆さんと一緒に大合奏をします。</p>		
<p>♪「クーブランの墓」より「リゴドン」 作曲:モーリス・ラヴェル(フランス/1875年3月7日 - 1937年12月28日)</p>		
<p>第一次世界大戦で戦死した知人たちへの思い出に捧げられたピアノ曲(6曲)をオーケストラ用に編曲した曲集の中のひとつです。ラヴェルの幼なじみの兄弟に捧げられた曲で、プロバンス地方(フランス)に伝わる舞曲をもとに作曲したそうです。</p>		
<p>♪楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より「第1幕への前奏曲」 作曲:ヴィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー(ドイツ/1813年5月22日 - 1883年2月13日)</p>		
<p>3幕で約4時間半から成る楽劇の第1幕の前に演奏される曲で、これから始まる物語の出来事や情景などを予感させる音楽として、この前奏曲だけで演奏される機会が多いです。今日の演奏会最後の曲としてお楽しみ下さい。</p>		
<p>♪校歌</p>		

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】				
指揮者・・・角田鋼亮、司会・・・加藤恵利子						
出演者	フルート	市川 えり子	第1 ヴァイオリン	吉岡秀和※	ヴィオラ	井野公実
		エキストラ		丹沢絵美		小中能会真
		エキストラ		古宮山栄里		為貝香織
	オーボエ	安原太武郎	第2 ヴァイオリン	濱島仁美	チェロ	依田郁子
		左古典子		植村圭		柿本朱美
	クラリネット	滑川敬一		栗山聡子		エキストラ
		岩井遥	エキストラ	チェロ	石橋隆弘	
	ファゴット	大津敦	エキストラ		堀田祐司	
		小野木栄水	エキストラ		本橋裕	
	ホルン	八木健史	第2 ヴァイオリン	エキストラ	コントラバス	貫名紗詠
		宇井智美		高嶋耕二		エキストラ
		高橋由佳		石橋玲子		エキストラ
		エキストラ	鬼塚博道	コントラバス	榎原利修	
	トランペット	村木純一	西村洋美		森田真理	
		清水祐男	向吉彩華		高柳安佐子	
		エキストラ	荒巻理恵	コントラバス	谷脇友里恵	
	トロンボーン	三浦葉月	二川 理嘉			
		高橋喜仁	安田祥子			
		森田和央				
	チューバ	エキストラ	コンサートマスター=※			
打楽器	片山陽平					
	和泉麻里					
	深堀賢太郎					
	エキストラ					
	エキストラ					
ハープ	エキストラ					